

広報

うんなん

1

新春号

2013 vol.28

平成25年1月15日発行

CONTENTS

雲南広域連合長 年頭のあいさつ	2
議長 新春のあいさつ、議会構成表	3
議会報告	4
「島根ふるさとフェア2013」について	5
介護保険情報コーナー	6
消防長 新春のあいさつ、救急救命機器が寄贈されました	8
平成24年中の火災・救急・救助統計	9
幼年消防クラブ 防火の誓い、防火への啓発活動、脳卒中に注意を!!	10
石油ストーブ チェックシート、雪の事故を防ごう!	11
雲南イベント情報	12

■琴引フォレストパークスキー場(飯南町)
 バリエティ豊かな7つのコースと3基のリフトが設置され、初心者から熟練者まで幅広く楽しめるスキー場となっています。キッズパークやそり専用ゲレンデも完備され、家族連れにもおススメです。

年頭のあいさつ



雲南広域連合長
速水雄一

新年あけましておめでとうございます。皆様には希望に満ちた新年をお迎えとお願い申し上げます。

雲南広域連合は、二市二町（雲南市・奥出雲町・飯南町）にまたがる、地域振興、介護保険、消防し尿処理業務を取り扱っております。住民サービスの向上に向けて引き続き努力して参りますので、よろしくお願ひします。

まず、雲南広域連合における広域的な地域振興事業でございます。

昨年、平成24年は古事記が編さんされてから1300年目の節目にあたりました。鳥根原では「神話博しまね」を開催し、たいへんな盛り上がりを見せました。最終的な入場者数は70万人を突破し、大成功であったと聞いております。

雲南地域におきましても「出雲神楽と食のフェスタ」や「うんなんオロチ街道フェア」、「オロチ探しの達人」など様々なイベントを開催し、観光客の誘致を図ってきました。これらイベントを通じて、県内外の方に雲南地域の魅力を十分にPRできたと感じています。

今年、平成25年は出雲大社の大遷宮が行われる年です。約60年ぶりに大社の御殿が

新装されるため、多数の参拝者がいらつしやると思います。また、今年の3月には、尾道松江線が吉田・掛合ICから広島三次まで開通する予定です。これにより、松江市から三次市まで高速道路でつながることになります。利便性が向上し、車の往来が増加することです。ますます両県の交流が活性化することと思ひます。

雲南地域におきましてもこの機会を好機ととらえ、積極的に広島へPRしていきたいと考えています。雲南地域には、古事記や出雲国風土記に記載される伝承地、豊かな自然に彩られた景観地、安心安全でおいしい食など、魅力的で貴重な資源が多数存在します。高速道路ができ、交通の利便性が増したことで、これらを積極的にアピールし、県外の皆様にとしどしと雲南地域へ来ていただくような仕掛けづくりをする考えであります。

次に介護保険事業でございます。第1号被保険者数は、ここ近年減少傾向にありましたが、団塊の世代が65歳に到達しはじめた影響で平成24年度は増加に転じています。

また、要介護（要支援）認定者数も後期高齢者（75歳以上）の増加と相まって年々増加しています。

平成24年4月から始まった第5期介護保険事業計画（平成24年度～平成26年度）につきましては、高齢者が可能な限り住み慣れた地域で、その有する能力に応じ自立した日常生活を営むことができるよう、①介護、②予防、③医療、④生活支援、⑤住まいの5つのサービスを体的に提供していく「地域包括ケア」の実現に向けて取り組むこととなっております。雲南地域においては、独居高齢者や高齢者夫婦世帯の増加に加え、認知症高齢者も増加しており、生活支援サービス、認知症支援策の充実を優先的に取り組むこ

ととしています。

サービス基盤整備は、施設待機者や認知症高齢者の増加、短期入所のニーズに対応して「特別養護老人ホーム」や「短期入所生活介護」、「認知症対応型共同生活介護」や「小規模多機能型居宅介護」を重点的に整備することとしています。

引き続き介護予防の充実を図るとともに、要介護（要支援）状態になっても高齢者が安心して暮らし続けることができる地域を目指してまいります。

次に消防業務でございます。

雲南消防本部管内の災害発生につきましては、九州地方を中心に豪雨災害が発生した昨年、当管内におきましても7月6日の午後9時頃から豪雨となり、時間雨量70ミリを超える地区もあるなど、災害発生に対して大きな不安を抱いたところであります。

幸いにも管内では人的被害は発生しておりませんが、住家、道路、農地、農業用施設等で大きな被害が発生しました。今後、こうした豪雨や地震等がいつ発生してもおかしくない状況でありますので、住民の皆様の一入ひとり災害に対する関心を一層深めていただきたいと思ひます。

消防本部といたしましては、消防団をはじめ関係機関との連携を密にして、地域の安心安全の確保を目指し、さらなる防災体制の強化を図って参ります。

昨年の出動状況につきましては、火災は「昨年と比べ8件減少し24件発生しました。この要因は、建物火災が減少したことによるものであります。

また、救急は2119人を医療機関に搬送し、この内約7割が高齢者の占める状況でした。また、ドクターヘリへの搬送は165人で、これは搬送の約8%を占めており、こうした取り組みにより重篤患者の搬送時間が

短縮し、速やかに医師の管理下に置くことが可能となりました。

尾道松江線開通による交通量増加に対する災害対策については、関係機関との連携を密接にするとともに、「一層の救急救助活動の強化を図っていく」所存であります。

消防救急無線のデジタル化につきましては、消防広域応援に係る円滑な通信体制の確保等を目的とし、鳥根原と共同で昨年からの本格的に整備を進めており、平成26年度の整備完了にむけて鋭意取り組んで参ります。

次に、環境衛生業務でございます。

現在のし尿処理施設は供用開始以来22年が経過し、施設の老朽化が著しくなっています。一方、水洗化率の向上により雲南地域下水道7処理場においては下水汚泥の増加に伴う維持管理費、処分費の増大が課題となつてきています。こうした課題に、集約化を進め効率的な運営を図るべく鳥根原・国土交通省と施設整備協議を進めてきました。木次三刀屋浄化センターで水処理、雲南クリンセンターで汚泥処理、2つの施設がそれぞれ機能分担による一体での下水道施設としての計画の認証をいただいたところであります。この認証により雲南地域全体のし尿・浄化槽汚泥・農業集落排水汚泥、下水道7処理施設の汚泥を集約処理・処分が出来る、効率的な運営が出来ると思ひます。都市計画業務、下水道事業計画業務の目途がつかしましたので、平成25年度より雲南クリンセンターを汚泥共同処理施設として整備を計画的に進めていく考えであります。

今後とも、雲南地域の広域行政を担う雲南広域連合に対して、いさうのご理解ご協力を賜りますようお願い申し上げます。年頭のあいさつとします。

新春のあいさつ



雲南広域連合議会
議長
深田徳夫

新年あけましておめでとうございます。皆様には新春をお健やかに迎えのことと雲南広域連合議会を代表してお慶び申し上げます。

昨年はわが国を取り巻く諸課題が、これまでにも増して顕著になった年で、一昨年の東日本大震災に起因する原発事故に端を発したエネルギー政策のあり方、遅々として進まないがれき処理問題などを含む震災復興、さらには原発30キロ圏内からの広域避難計画策定など、新たな課題への対応に迫られています。また、竹島や尖閣諸島をめぐる近隣諸国との間に発生した軋轢は、領土保全という国家の基幹問題であるとともに国内経済にも大きな影響を及ぼしています。

こうした中で行われた衆議院議員総選挙は、まさにこれからの日本の進む方向を決める重要なものであり一刻も早い政治の安定が望まれるところです。

さて、雲南広域連合は、平成11年8月の設立以来、本年度15年目を迎えるようとしています。一昨年から、消防業務、し尿処理業務も加わり、圏域の住民の皆さんの日々の安心安全を支える重要な役割を担っています。

特に本年は、介護保険事業の安定的な事業展開、観光を中心とする地域連携強化、消防救急無線デジタル化事業の本格実施、汚泥共同処理施設整備事業に着手するなど大きなプロジェクトも動き出そうとしています。

雲南広域連合議会におきましても、皆様のご期待に応えられるよう圏域の課題をしっかりと執行部に届け、圏域住民の皆様が安心して住んで頂ける環境整備が図られることや更なる住民サービスの向上につながる施策が展開されるよう、審議を通して提言や監視などしっかりと役割を果たして参りたいと思ひます。

本年も、皆様一層のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。ともに雲南圏域の発展と皆様のご健康とご多幸をお祈り申し上げます。年頭のご挨拶といたします。

平成24年12月25日、雲南市議会議員の改選に伴う雲南広域連合議会の構成替えがありました。新たな構成については、次のとおりです。

雲南広域連合議会構成表

役職名	氏名	市町名	役職名	氏名	市町名		
議長	深田徳夫	雲南市	厚生常任委員会	委員	堀江治之	雲南市	
副議長	那須穂士輝	飯南町		委員	深田徳夫	雲南市	
総務常任委員会 (7名)	委員長	小野 覚		飯南町	委員	景山孝志	奥出雲町
	副委員長	若月康男		奥出雲町	委員	福本 修	奥出雲町
	委員	周藤正志	雲南市	議会運営委員会 (6名)	委員長	景山孝志	奥出雲町
	委員	堀江 眞	雲南市		副委員長	周藤 強	雲南市
	委員	土江良治	雲南市		委員	堀江 眞	雲南市
	委員	塔村俊介	奥出雲町		委員	福本 修	奥出雲町
委員	那須穂士輝	飯南町	委員		小野 覚	飯南町	
委員	周藤 強	雲南市	委員		那須穂士輝	飯南町	
厚生常任委員会 (7名)	委員長	周藤 強	雲南市	監査委員(議会選出)	福本 修	奥出雲町	
	副委員長	長島正一	飯南町				
	委員	山崎正幸	雲南市				

広島へ雲南地域の魅力をPR!

～島根ふるさとフェア2013 神々の国のおもてなし縁～

平成25年1月19日(土)・20日(日)、広島県で開催される「島根ふるさとフェア2013」に今年も参加します。このフェアは、島根県の魅力を広島県の方へ紹介し、両県の一層の交流を図る目的で開催されています。島根県のおいしい物を味わえ、神楽や太鼓などの伝統芸能を観覧できるフェアとあって、毎年十数万人が来場する大人気のフェアとなっております。

今回で16回目となるこのフェアのテーマは「神々の国のおもてなし縁」。場所も昨年と同様、広島市の広島県立総合体育館周辺で開催されます。

雲南地域からは、しまねまるごと特産市(屋内会場)へ20業者、しまねあつあつ屋台村・しまねフードスタジアム(屋外会場)へ9業者が参加します。主な販売品目は、屋内「農林産物、乳製品、漬物、そば、生どら」など、屋外「そば、焼そば、奥出雲和牛焼肉、杵つきもち」などです。

雲南広域連合は屋内会場へブースを設け、雲南地域の魅力や観光資源の情報を発信してまいります。また、雲南地域の特産品やお買物券などが当たるガラポン抽選会を実施します。

○昨年の「島根ふるさとフェア2012」の様子



屋内会場の様子。屋外会場でも島根のファンの方で会場内は大混雑でした。



雲南地域のご当地キャラも登場。ダイトレンジャー、イソガシンジャー、い〜にゃんが応援出演!



ステージでは、島根の伝統芸能が観覧できました。写真は飯南町の野見宿禰赤名相撲甚句会の皆さん。



雲南地域の名物「うんなん まめなカ一市」が会場に出現。来場者の注目を集めていました。

雲南広域連合 議会報告



平成24年 雲南広域連合議会12月定例会

平成24年12月25日、平成24年雲南広域連合議会12月定例会を開催しました。今回の議会には次の議案について原案通り可決されました。

《議決された事項》

○雲南広域連合議会委員会条例の一部を改正する条例

雲南広域連合の議員定数の削減に伴い、議会の総務常任委員会と厚生常任委員会の委員定数を8名から7名へ改定しました。

○平成24年度雲南広域連合一般会計補正予算(第2号)

歳入歳出の総額に歳入歳出それぞれ109千円減額し、歳入歳出の総額を1,308,882千円としました。

主な内容

島根県の権限移譲事務に係る交付金収入が確定し、減額となったため。
また、消防救急デジタル無線整備事業の財源について、構成市町負担金(過疎債充当)から広域連合消防債(緊急防災・減災事業債)へ121,000千円組替えを行いました。

○平成24年度雲南広域連合介護保険特別会計補正予算(第2号)

歳入歳出の総額から歳入歳出それぞれ591千円増額し、歳入歳出の総額を7,365,901千円としました。

主な内容

臨時職員の増員に伴い、賃金の支払額が増加したため。

○消防救急無線広域共同整備事業の委託の契約について

島根県から受託する「消防緊急無線広域共同整備事業」が、雲南広域連合議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関するため、承認を求めました。

○監査委員(議会選出)の選任につき同意を求めることについて

福本修氏(奥出雲町)を監査委員に選任することについて同意されました。

(表1) 外泊体験サービス事業の
1回あたりの利用限度額

介護度区分	利用限度額
要介護1	33,160円
要介護2	38,960円
要介護3	53,500円
要介護4	61,200円
要介護5	71,660円

(表2) 居宅サービス費区分支給限度基準額拡大事業の対象となる
居宅サービスの支給限度基準額(月額)

介護度区分	通常の支給限度基準額	拡大後の支給限度基準額	備 考
要介護2	194,800円	253,240円	基準額を1.3倍に拡大します。
要介護3	267,500円	347,750円	基準額を1.3倍に拡大します。
要介護4	306,000円	397,800円	基準額を1.3倍に拡大します。
要介護5	358,300円	501,620円	基準額を1.4倍に拡大します。

いずれの事業とも申請された内容を審査し、雲南広域連合長が認めた場合に限り、支給の対象となります。市町村特別給付制度の利用・手続きなど詳しくは、雲南広域連合介護保険課管理給付係(電話0854-45-5803)または、各市町介護保険担当窓口までお問い合わせください。

介護保険料の税控除

1月～12月に納めていただいた介護保険料は、
住民税や所得税の
社会保険料控除の対象となります。

○年金天引きによる納付の場合

被保険者本人に限り社会保険料控除の対象となります。納付した保険料額は年金保険者から送られる「源泉徴収票」でご確認ください。

○納付書や口座振替による納付の場合

被保険者ご本人、あるいは被保険者に代わって介護保険料を納付した同一世帯の方は社会保険料控除の対象となります。納付書納付の場合は「納入通知書兼領収書」、口座振替の場合は「通帳の記帳」で金額をご確認ください。

※申告の際に納付証明書を添付する必要はありません。申告書に納付した保険料額を記入していただくだけで結構です。

金額が確認できない場合は、各市町の介護保険担当窓口か雲南広域連合へお問い合わせください。

雲南広域連合独自の介護給付制度「市町村特別給付」をご利用ください。

雲南広域連合では、要介護認定を受けている方の居宅での生活を支援するために、保険者独自の給付制度として、「市町村特別給付」を行なっています。

市町村特別給付は、①外泊体験サービス事業、②居宅サービス費区分支給限度基準額拡大事業、③外泊時ターミナルケアサービス事業の3事業からなり、事業の内容や利用できる方などは次のとおりとなっています。

事業名	事業内容	利用できる方	対象となる居宅サービス
外泊体験サービス事業	介護保険施設などに入所(入院)されている方が、在宅復帰を目的に外泊(1泊2日以上で年間10日間を限度)される場合に、外泊期間中に利用した居宅サービスにかかる費用の、9割を支給します。(残りの1割は自己負担となります。) 介護度ごとの利用限度額は(表1)のとおりです。	病院・診療所に入院または、介護保険施設に入所している、要介護1以上の認定を受けている方	①訪問介護 ②訪問入浴介護 ③訪問看護 ④通所介護 ⑤通所リハビリテーション ⑥福祉用具貸与 ⑦認知症対応型通所介護
居宅サービス費区分支給限度基準額拡大事業	中・重度(要介護2の一部と要介護3以上)の認定を受けている方が、居宅サービスの支給限度基準額(注1)を超えてサービスを利用しなければ日常生活が困難な場合に、支給限度基準額を拡大(表2)し、拡大した部分にかかる費用の、9割を支給します。(残りの1割は自己負担となります。)	要介護3以上の認定を受けている方または、要介護2の認定を受けている方のうち、認知症により頻回のサービスを必要とする方で、次の要件のいずれかに該当する方。 ア 認知症の方で、支給限度基準額を超えなければ、必要な回数の居宅サービスの利用ができない方。 イ 寝たきりなどの方で、支給限度基準額を超えなければ、必要な回数の居宅サービスの利用ができない方。 ウ ア・イに該当する方のほか、本人や家族等のやむを得ない理由により、支給限度基準額を超えなければ必要な回数の居宅サービスの利用ができない方。	①訪問介護 ②訪問入浴介護 ③訪問看護 ④訪問リハビリテーション ⑤通所介護 ⑥通所リハビリテーション ⑦福祉用具貸与 ⑧短期入所生活介護 ⑨短期入所療養介護 ⑩認知症対応型通所介護 ⑪小規模多機能型居宅介護
外泊時ターミナルケアサービス事業	がん末期の状態にある方が、病院又は診療所に入院中で、一時外泊時に居宅サービスの利用を希望された場合、年間10日を限度に居宅サービスにかかる費用の9割を支給します。(残りの1割は自己負担となります。) 利用限度額は、300,000円です。	要支援1～要介護5の認定を受けている方のうち、病院又は診療所に入院中で、がん末期の状態にある方	①訪問介護 ②訪問入浴介護 ③訪問看護 ④福祉用具貸与

注1) 支給限度基準額とは、介護度ごとに利用できる(保険給付の対象となる)1ヶ月あたりの居宅サービス費用の上限額です。上限額を超える居宅サービスの利用については、全額自己負担になります。

雲南消防本部
消防長 障子弘敏

平成25年の輝かしい新春を迎え、謹んで
お喜び申し上げます。

地域住民の皆様をはじめ、関係機関の皆様には、平素より消防行政各般にわたり、
格別のご支援、ご協力を賜り厚くお礼申し
上げます。

さて、昨年を振り返りますと、7月には
九州地方から西日本に掛けて、梅雨前線に
よる豪雨で、土砂崩れ、洪水などが発生し、
多数の人的被害、住家被害が発生しました。
この豪雨により自然災害の驚異を身近に痛
感させられました。

こうした大雨による人的被害は、普段か
らの災害に対しての研修や備えにより防ぎ
得ることが可能であります。

自然災害は、いつ、どこで発生してもお
かしくない状況であり、改めて日ごろから
の災害への備えについて重要性を認識し、
一層防災への関心を深めていただきたいと
思います。

一方、5月に広島県福山市で発生したホテ
ル火災では、建築基準法及び消防法違反に
より7名の死者を出す痛ましい事態となり
ました。
防火対象物の点検及び指導を行う行政機
関として、こうした火災の発生を防止する

ために、さらに指導体制の充実強化を図
り、安心・安全の確保を目的に適切な対応
を執つていく所存であります。

雲南管内の昨年の出動状況は、火災出動
が24件、救急出動が2189件、救助出動
が70件であり、火災については前年比較で
8件の減少となりました。これは、建物火
災の9件の減少によるものであります。

救急出動は、過去最も多い前年に比べ63
件減少しました。

本年3月には、中国横断自動車道尾道松
江線のさらなる延長により広島県三次市ま
で開通しますが、これにともない一般車両
はもとより大型観光バス等の増加が予想さ
れ、昨年の4月に発生した関越自動車道大
型バス単独事故の様な多数傷病者の発生も
懸念されるところであります。

こうした災害に対し、さらに災害対応能
力の向上を図り、住民の皆様の信頼と期待
に応えるため、防災体制の充実強化にむけ
て積極的に取り組んで参りますので、一層
のご支援とご協力を賜りますようお願い申
し上げます。

結びに、本年が災害の無い明るい年とな
りますとともに、皆様のご健勝とご多幸を
心から祈念申し上げます、新年のご挨拶
いたします。

救急救命機器が寄贈されました

10月26日(金)、雲南農業協同組
合から当消防本部へ救急救命機器
が寄贈されました。救急救命機器
は、高度救急処置の実習用人形2
体と、心肺蘇生法講習会用の訓練
人形2体で、職員の救急技術の向
上並びに住民への応急手当の普及
啓発活動に活用させていただきます。
消防本部で行われた贈呈式で
は、吾郷生善代表理事組合長から
影山喜文副管理者に目録が渡され
ました。



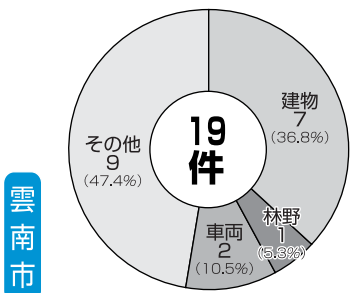
火災・救急・救助統計

出動件数

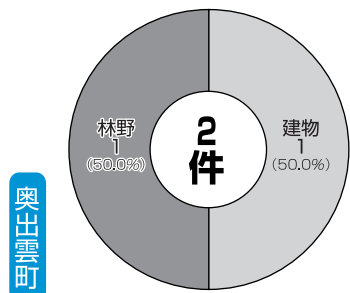
平成24年1月1日
～12月31日

火災出動 24件

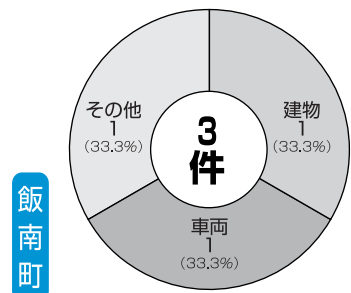
平成23年 32件



雲南市



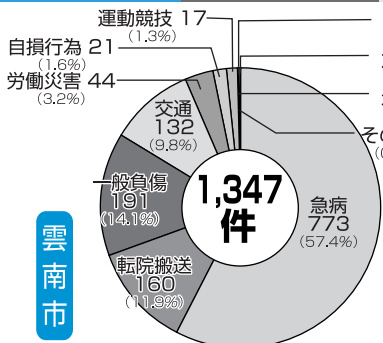
奥出雲町



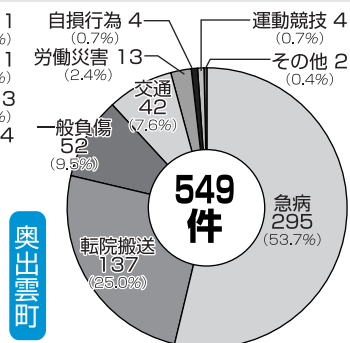
飯南町

救急出場 2,189件

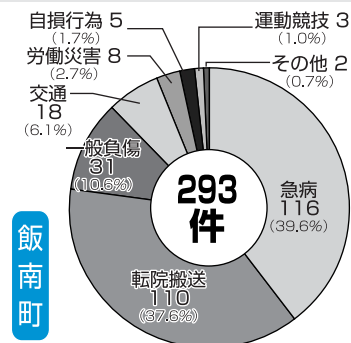
平成23年 2,252件



雲南市



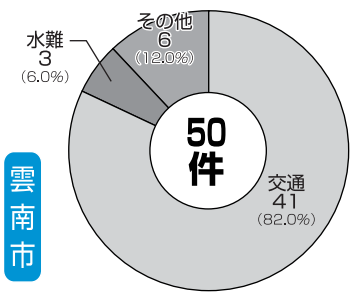
奥出雲町



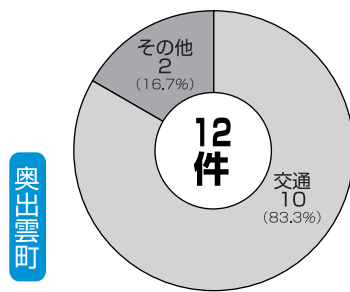
飯南町

救助出動 70件

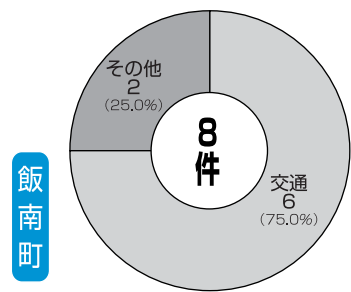
平成23年 53件



雲南市



奥出雲町



飯南町

平成24年中の火災は24件発生し、平成23年と比較すると8件の減少となりました。これは建物火災が減少したことによるものです。しかしその反面、火気の不適切な取り扱いや、ちょっとした不注意や油断から火災につながったものが10件を占めています。火を取り扱う時は、その場を離れない、消火器具を準備するなど火災予防を心がけましょう。

救急件数については2,189件で、昨年より63件減少しました。このうち、ドクターヘリへの搬送は164件で、雲南地区が最も多く利用し、県内の搬送件数の約25%を占めています。これにともない、消防車両での地上支援も行っています。

救助件数については、平成23年と比較すると交通事故が多発したため17件増加しています。

「消すまでは 出ない行かない 離れない」

春の火災予防運動3月1日～7日(奥出雲町 4月7日～13日)



石油ストーブ チェックシート

近年、節電意識の高揚により石油ストーブの需要が増えています。火災を起こさないために各家庭でチェックシートで確認を。



チェック項目	石油ファンヒーター	石油ストーブ	チェック結果	異常時の処置
1 洗濯物を上に干していませんか?	○	○		洗濯物は機器から離す
2 給油は火を消してから行っていますか?	○	○		必ず火を消して給油
3 カーテンの近くで使用していませんか?	○	○		機器はカーテンから離す
4 機器の周辺に燃えやすいものや布団などはありませんか?	○	○		布団や燃えやすいものなどに近づけない
5 スプレー缶を近くに置いたり、近くで使用していませんか?	○	○		スプレー缶を機器の近くに置かない、使用しない
6 温風空気取入口フィルターや燃焼空気取入口フィルターにほこりがついていませんか?	○	—		フィルターを掃除(定期的に)(※)
7 温風吹出口にほこりがついていませんか?	○	—		温風吹出口を掃除(定期的に)(※)
8 置台にほこりやゴミがたまっていますか?	○	○		置台を掃除
9 持ち越しの灯油を使用していませんか?	○	○		劣化した灯油は使用しない

(※)取扱説明書を参照

雪の事故を防ごう!

雪ずり・落雪に注意を!!

雪ずりにより煙突が折れる、接続部がずれるなどの原因で火災が発生します。また、落雪によりボイラーの燃料ホースが破損し、燃料漏洩事故も発生します。

このような事故を防ぐために、次の事に注意してください。

- ・煙突の補強を行い、焚く前に必ず点検を行う。
- ・燃料タンク付近の除雪やホースの点検を行う。
- ・雪が堆積する所には、防雪対策を行う。

雪下ろしに注意を!

雪下ろし中には転落事故、ずり落ちた雪に埋もれるなどの死傷事故が発生します。雪下ろしの際は、次の事に注意して安全に作業しましょう。

- ・できれば曇り空で、雪が固い午前中に行う。
- ・ヘルメット、命綱、長靴の滑り止めなど安全面を徹底し、軽くて使いやすい道具を使用する。
- ・作業前には、下に人がいないか確認する。
- ・屋根では、しっかりした足場を確保し、雪を20cm以上残す。(下ろし過ぎると滑りやすくなる)
- ・明るい時間帯に2人以上で行い、お互いの安全を確認する。



4月はたき火火災防止月間です

~幼年消防クラブ 防火の誓い~

(財)自治総合センターが宝くじの助成金で実施したコミュニティ助成事業により、防火活動用資器材の交付がありました。

11月19日(月)に社会福祉法人仁多福祉会馬木幼稚園幼年消防クラブ(会長 恩田恵美子園長・クラブ員52名)へ幼児期の防火思想の普及啓発を目的に鼓笛隊セットが交付されました。

園児たちは、「火遊びは絶対にしません。」と誓い、音楽に合わせ迫力のあるマーチングを披露しました。今後、地域の行事や保育公開等で火災予防の音を響かせます。

同助成事業にて、雲南防火委員会へ視聴覚資器材の交付がありました。今後、防火座談会や火災予防広報等の際にこの資器材を有効に活用させていただきます。



園児によるマーチング



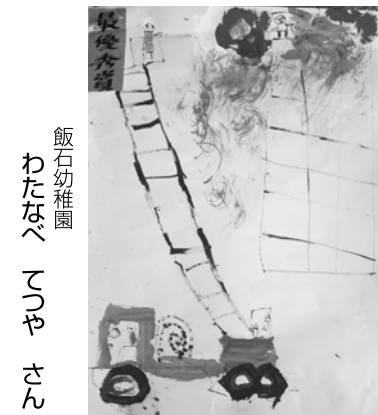
交付された視聴覚資器材を使用しているビデオ上映(下熊谷ふれあい会)

防火への啓発活動

火災予防図画コンクール

秋の火災予防運動の一環として、幼稚園・保育園(所)の園児を対象に火災予防図画コンクールを実施しました。管内35の園(所)から348点の応募があり、いずれも子供たちの元気あふれるすばらしい作品でした。

審査の結果、最優秀賞1点、消防長賞5点、金賞26点、銀賞25点、銅賞42点が選ばれ、各町内のショッピングセンター等に展示し、火災予防を呼びかけました。



飯石幼稚園 わたなべこちゃんさん

最優秀賞 図画コンクール

脳卒中に注意を!!

寒い季節は、脳卒中の発症が多くなります。自宅でも暖房の効いた暖かい部屋から寒い場所に出ると、血管が急激に収縮するため、血圧が急上昇し、血管が破れたり、詰まりやすくなります。

脳卒中の起こりやすい玄関先、お風呂場、トイレでの予防策は次のとおりです。



・玄関先

外出する際は、厚着をし、首元が冷えないように、マフラーなどで首を暖めましょう!

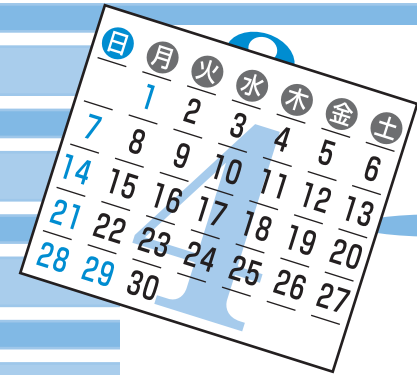
・お風呂場

脱衣所を電気ストーブなどで暖めてから服を脱ぎ、(特に高齢者)1番風呂はお風呂場が寒いので、2番風呂などお風呂場が暖まってから入りましょう!

・トイレ

トイレ専用の小型の暖房器具や暖房便座を使用しましょう!

ゆきの里 雲南 イベント情報



4月15日(月) 雲南市三刀屋町

峯寺護摩供養

峯寺(三刀屋町給下)

燃え盛る炎の中に護摩木を投げ入れ、無病息災・家内安全を願う伝統行事です。



問 峯寺
TEL0854-45-2245

4月下旬 奥出雲町

鬼の舌震川開き

鬼の舌震(奥出雲町三成)



巨岩・奇岩の迫力ある景色「鬼の舌震」での安全を祈願した川開き神事です。

問 奥出雲観光協会
TEL0854-54-2260

4月29日(月・祝日) 奥出雲町

船通山 カタクリ登山

船通山(奥出雲町竹崎)

ヤマタノオロチ退治の舞台、船通山。その山頂に可憐に咲くカタクリの花を楽しむ登山イベントです。

入 参加費無料
問 奥出雲観光協会
TEL0854-54-2260



3月中旬 雲南市大東町

春紅桜(河津桜)桜祭り

春殖農村公園(春殖交流センター敷地内)

早咲きの春紅桜(河津桜)の開花時期に合わせて、キッズパークin春殖桜祭り等のイベント開催や飲食物テント村も開設します。



問 春殖地区振興協議会(春殖交流センター内)
TEL0854-43-2709

3月10日(日) 雲南市加茂町

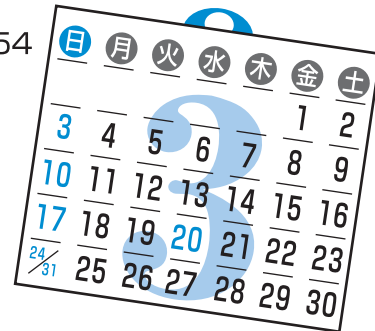
第8回雲南神楽フェスティバル

加茂文化ホールラメール

市内で活動している多数の神楽団体が共演し、「神楽の里」雲南市を市内外に広く発信します。

時 10時~16時
入 一般 前売り1,000円、当日1,500円
高校生以下無料

問 雲南市商工観光課
TEL0854-40-1054

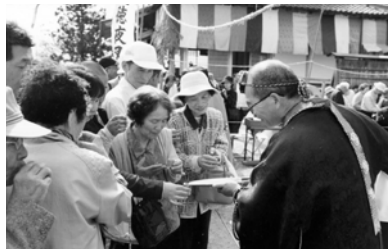


4月14日(日) 雲南市三刀屋町

がん封じ笹酒まつり

成覚寺(三刀屋町中野)

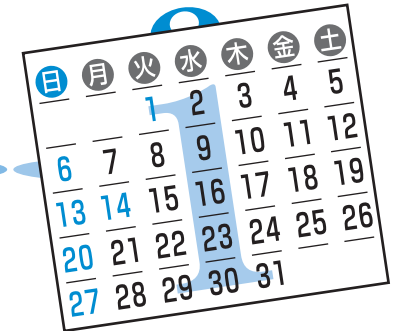
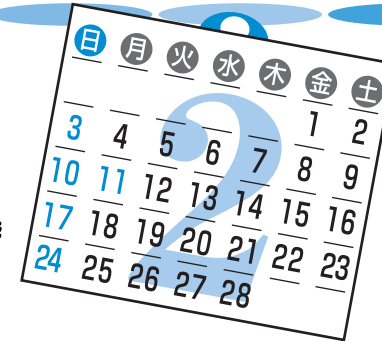
竹筒のまま護摩壇の炎で温められた笹酒をいただき、がん封じを祈ります。



問 成覚寺
TEL0854-45-4800

2013

時 時間
入 入場料・参加料
問 お問い合わせ



2月24日(日) 雲南市加茂町

ラメールミュージカルスクール公演2013 MOMO NO MOMO

加茂文化ホールラメール

「時間」をカギに、不思議な少女モモが教えてくれる本当の自由。さあ! あなたもモモに逢いにいこう!



時 開場:13時30分 開演:14時
入 1階指定席:一般1,000円 高校生以下:500円
2階自由席:前売り500円(当日800円)
問 加茂文化ホールラメール
TEL0854-49-8500

3月25日(月) 雲南市三刀屋町

三刀屋天満宮 春の例祭

三刀屋天満宮(三刀屋町三刀屋)

学業の神様菅原道真公を祀る三刀屋天満宮の春祭りです。



問 三刀屋天満宮社務所
TEL0854-45-2899

1月27日(日) 雲南市掛合町

カキまつり

道の駅「掛合の里」

呉市音戸町直送の新鮮なカキを販売。その他地元団体の出店もあります。



問 掛合町ふるさとまつり実行委員会事務局(掛合総合センター内)
TEL0854-62-0300

2月3日(日) 雲南市三刀屋町

堂餅さん

寿福寺(三刀屋町多久和)

大きな餅を2個観音堂にお供えし、参列者が長い大数珠を回しながら無病息災や五穀豊穡を祈願します。



問 寿福寺
TEL0854-45-2975

3月下旬~4月下旬 雲南市木次町・三刀屋町

雲南市さくら祭り

斐伊川堤防桜並木ほか

ぼんぼりの点灯、桜のライトアップあり。4月6日には打ち上げ花火等イベントを開催予定。



時 メインイベント
4月6日(土)、7日(日)

問 雲南市商工観光課
TEL0854-40-1054



■三沢池(奥出雲町)

この池は、戦国武将、三澤氏の居城であった要害山の中腹にあります。『出雲国風土記』によれば、オオクニヌシノミコトの御子神、アチスキタカヒコノミコトがこの池の水を浴びて体を清めたと伝えられています。

